



除幕された孫子の銅像

燕趙園に孫子の銅像

中国偉人
3体目 友好、平和のシンボル

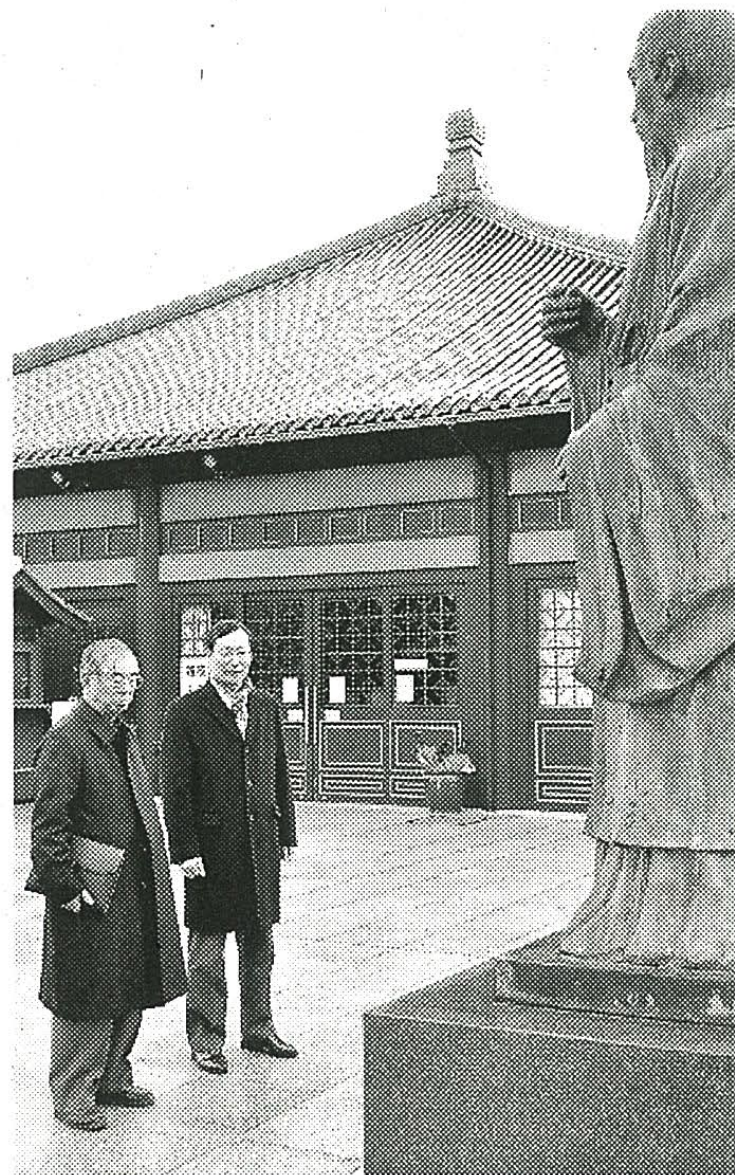
湯梨浜町引地の中国庭園・燕趙園に十七日、風林火山でもおなじみの中国の兵法家・孫子の銅像がお目見えした。園内には孔子と孟子の銅像もあり、燕趙園では「中国を代表する偉人がまた一人増えた」と喜んでいる。孫子像は小松電機産業（松江市）が設立した財団法人・人間自然科学研究所（小松昭夫理事長）の寄贈で、孔孟の像に続

くもの。日中友好と北東アジアの平和のシンボルとして、同研究所が中国の山東省東營市から贈呈され、ゆかりの深い燕趙園に設置して多くの人に見てもらうことにした。除幕式は集粹館前広場で行われ、小松理事長が「燕趙園で孔子、孟子と一緒に設置するのが一番いい。今後は老子の像も考えている」とあいさつ。湯梨浜町の宮脇正道町長が「燕趙園がよりにぎやかになりました」とお礼を述べ、高さ二・三メートルとした孫子像を除幕した。

この日は、中日友好協会の宋健会長の書を刻んだ石碑も同園芝生広場に設置され、県日中友好協会の藤井省三会長らが除幕した。

縁深い像に「感無量」

駐名古屋
中国領事ら 燕趙園を訪問



孔孟像を見学する呉領事(右)
と小松社長

日本最大級の本格的
所が2003年に中国

中国庭園・燕趙園(湯梨浜町)にある孔子などの石像設置に携わった中国駐名古屋総領事館の呉広華領事と小松電機産業(松江市乃木福富町)の小松昭夫社長ら関係者が7日、同園を訪れた。日中友好の懸け橋となった像を見学し、日中友好や北東アジアの平和を願った。

山東省で製造した孔子・孟子像を燕趙園に寄贈。その際、呉さんは同省棗莊市政府に勤務しており、事前調査で燕趙園を訪れたほか、石像の出発式では通訳を務めていた。

燕趙園にはその後孫子像が、また06年には大阪市の篤志家が所有していた「西王母と八仙人」の石像が小松社長らの仲介で燕趙園に移され、観光のシンボル

になっている。

この日は呉領事とその家族、小松社長ら約10人が燕趙園を訪れた。呉領事は像が設置されているのを見るのはこの日が初めてで、「感無量です」とうれしそう。「燕趙園に中国の偉人の像があることを多くの人に知ってもらいたい」として、燕趙園を国内外へPRする必要性を強調した。

(石原美樹)